

丸木俊 あきゆき 洋畫家。明治四十五年二月十一日北海道雨龍郡生れ、平成十一年一月十二日歿（一九二二—二〇〇〇）。舊姓赤松。筆名丸木俊子、赤松俊子。旭川高等女學校を経て、昭和八年女子美術專門學校洋畫部卒。十六年日本畫家丸木位里と結婚。翌年美術文化協會に参加すると、二十一年脱會、翌年日本共産黨入黨。二十五年夫との共同制作「原爆の圖」を発表。三十二年十部作完成、爾後世界各地で巡回展。四十一年埼玉の原爆の図丸木美術館開設。

著書、異国歌文 南洋諸島の話 ミナミノシマ （赤松俊子名、畫、昭和十八年七月五日中央出版協會）、可白くむく犬 （同、昭和二十二年五月二十日ヤソカ書房）、可繪ハ誰デモ描ケル （同、昭和二十四年九月一日道善美社）、

「原爆の圖」畫集普及版（ヤビー出版） （同、丸木位里共著、昭和二十七年四月十日青木書店「青木文庫」）、可生々流轉 （同、同、昭和二十九年三月一日堂町書房）、可生々流轉 （丸木俊子名、昭和二十二年十一月一日農業之日本社）、可幽霊—原爆の図 （東京巡礼） （昭和四十七年七月十五日朝日新聞社）、可原爆の図



（丸木位里共著、昭和五十三年六月二十五日労働大学）、可鎮魂の道

—原爆・水俣・沖縄 （同、水上勉解説、昭和五十九年七月二十日岩波書店「Iwanami Graphics」） 等。

文獻、本橋成一写真録 （ふたりの画家—丸木位里・丸木俊の世界） （昭和六十二年四月二十五日晶文



丸木俊の世界 （昭和六十二年四月二十五日晶文

社(等)。